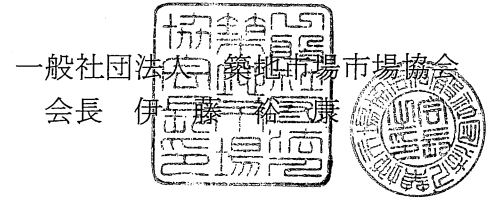


東京都知事
小池百合子様



豊洲移転問題の早期解決に向けて（要望）

小池知事におかれましては、ご就任以来、さまざまな都政の課題に積極果敢に取り組んでおられることに敬意を表します。

さて、知事が、去る8月31日、築地市場の豊洲移転延期を決定されて以来、築地市場業界は混乱と不安の真只中にあります。石原、猪瀬、舛添と3代続いた知事の皆様が、こぞって築地の豊洲移転を指示されてまいりました。我々業界はそれに従い、それを信じて、豊洲への移転・営業に向け多大な投資をしてまいりました。その投資が宙に浮いてしまう。しかもその調達に対する返済が迫る。さらに築地での営業継続を余儀なくされ、築地と豊洲の二重投資という、私ども事業を営む者にとっては、極めて許容しがたい事態が生じております。こうした中で、移転が何時になるのか、未だその目途さえ示されておりません。知事は先日、移転へのロードマップを示されましたが、あの中に市場業者の意見や気持ちは一体どの程度汲まれているのでしょうか。私どもには、巷間必要と言われているプロセスを、ただ時系列で並べただけにしか見えません。ご案内の通り、築地市場業者の多くは、通常においても赤字にあえぐ弱小業者であります。こうした事態の中で、倒産の危機に瀕している者も少なくありません。知事の責任とリーダーシップの下で、豊洲移転問題の一日も早い解決を切に要望してやみません。この問題に関し、知事をお願いしたい事は多々ありますが、上記のような実情を踏まえ、本日は、特に以下の4点について強く要望いたします。

1 知事に築地市場に是非お越しいただき、業界の声を直接お聞きいただきたいこと。

去る11月1日の市場当局主催の説明会に、知事のご出席をお願いしましたが、お聞き入れいただけませんでした。知事の一方的決定で移転を延期した以上、ご自身で直接その対象者である市場業者にご説明されるのが筋ではないでしょうか。知事との信頼関係の構築こそが、問題解決への重要な第一歩ではないでしょうか。

2 可能な限り早期に移転の可否・時期の目途をご提示いただきたいこと。

上記のような実情にある築地市場業界にとって、移転の可否、移転の時期の早期決定は、不安を取り除く重要な要素であります。市場問題PTの検討事項の全てが、移転の判断に必要な要素なのでしょうか。少なくとも土壤汚染に関する安全性が確認されれば、移転の可否、移転の時期の判断はつくのではないのでしょうか。一日も早い判断をお願い致します。

3 市場業界との十分な話し合いの下に、早期に市場業者への適切な補償をお願いしたいこと。

知事が、市場業者への補償の必要性を夙に表明され、取り組まれていることには感謝申し上げます。しかしながら、上記のような実情にある市場業者にとっては、その動きは緩慢であり、焦慮に堪えません。さらに、補償のフレームづくりに市場業界の声が果たしてどの程度反映されるのか、私どもとしては、この点を非常に危惧しております。市場業界との十分な話し合いの下に、早期に市場業者への補償に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

4 都の責任において風評被害の予防と払拭をお願いしたいこと。

豊洲への移転を延期して以来、都民の間には様々な風評が広がっております。曰く「豊洲で売られる魚や野菜は汚染されていて食べられない」、また曰く「豊洲では汚染された海水で魚を洗っている」。こうした風評は、突如として移転が延期されたことによる様々な憶測に端を發しますが、次なる移転の決定が遅れば遅れるほど拡大し、風評が風評を生む事態が生じてまいります。このような風評は、例え豊洲に移転したとしても、豊洲での営業に大きな支障となりかねません。一方的に延期を決定された知事及び東京都の責任において、是非こうした風評の発生・拡大を予防し、払拭を図っていただきたいと思ひます。

なお、他にご要望申し上げたいことについては、他日、市場長等に申し上げますので、お聴き取りいただきますよう、お願い申し上げます。

以上